





## 卓話

### 沼津からボルドーへ、 ボルドーから沼津へ いつか

シャトー・ジンコオーナー  
兼ワインメーカー  
百合草 梨紗様

沼津出身の私が、短大卒業後アパレル業で働いている時、ワイン好きの友人の勧めでワイン会に参加するようになりました。何度かその会に参加するうちに、ワインの放つ香りにすっかり魅了されました。

私が特に美味しいと思うボトルには、いつもサンテ・ミリオンと書かれていました。

ここに行ってみたくて、単身で留学を決め、21歳の時に渡仏しました。1年目にフランス語の勉強をし、2年目にワイン学校に入学、そこで主人マチュと出会います。その後2人でワイン会社を設立。自分が美味しいと思うワインを自身の手で作りたいと思うようになり、様々な苦難を乗り越えて2015年11月に1.65haのブドウ畑のシャトー・ジンコの土地を購入しました。

ワインは、畑から生まれます。

それは、自然の恵みの飲み物なのです。

グラン・ヴァン(偉大なワイン)を造る為には、自然な造り方が一番の近道だと昔から痛感しています。

だからこそ、この畑を購入したその日から一切の農薬・殺虫剤、殺菌剤などを使用せずブドウを育てテロワール(風土・土壌・気候)と生物多様性を大切に、土地の個性が反映されたワイン造りを目指してきました。

その努力が実り、大変難しい「オーガニック認証A B」の認証をフランス政府から受けることができました。

日本では、「さくらアワード・最高賞ダイヤモンド」を受賞することができました。



これからも自然を尊重したビオデナミ農法を行い生命力溢れる、優しくも芯があり、パワーを感じられる様なワイン造りを続けていきたいと思えます。

今は、目の前にあるブドウの一本一本の樹と向き合い、その生命力を信じ大地との繋がりを覚えることに、ワイン造りの大変さや、やりがいを感じています。

そしていつの日にか、私の故郷「沼津」の畑でブドウを栽培し、ワイン造りできる日が来ることを夢に見て、これからも美味しいボルドー・シャトー・ジンコのワインを造り皆様にお届けしたいと思えます。

★卓話当日、百合草様のシャトー・ジンコのワインの販売も例会場で行われました。



## 桐陽高校 IAC 訪問 2023.6.9(金)

大村次期会長・渡邊(真)次期幹事・  
渡邊(洋)次期青少年委員長

次年度ポリオ撲滅推進事業「古着deワクチン」活動を IAC にも協力要請したところ、生徒たちが作成したチラシを全校生徒に配布し、6月3日の同校の文化祭で古着集めをしてくれました。

活動の様子、回収した古着の贈呈の様子について、沼津朝日の取材を受けました。

## 伝達

RLI 卒後コース修了証が  
吉野DLへ伝達されました。

## 幹事報告

- 6/23(金)例会終了後、清年度第13回定例理事会・大村年度第1回定例理事会

## スマイル・ボックス

清君…誕生祝い、ありがとうございます。6月誕生月が過ぎるのをこんなに指折り数えて待っている年は初めてです。

野際君…百合草様、昨晚遅くの帰国で時差ボケの中、卓話をありがとうございます。宜しく願います。本日はワインの販売がありますので皆様ご購入をお願いします。實石君…先週は前会長・幹事慰労会をおこなっていただきありがとうございました。

大友君…①先週は前会長・幹事慰労会をおこなっていただきありがとうございました。②本日は静岡の病院で定期検診のため、早退させていただきます。